

1 番	朝井賢次 議員			
項目	令和4年度予算大綱説明について		項目	
<p>(要旨)</p> <p>1. 第6次瀬戸市総合計画の評価と課題について</p> <p>(1) 策定から5年が経過した第6次総合計画について、現在までの評価を伺う。</p> <p>(2) 将来像の実現にむけて、今回の予算大綱の“解決に資する新たな挑戦を行う”の意図するところはどのような事かを伺う。</p> <p>(3) (2)の観点に立ち(1)の評価に基づく課題をどう解決していくのか3つの都市像ごとに伺う。</p> <p>2. 中期事業計画の策定方針を基本とした予算編成について</p> <p>(1) 令和4年度の予算を編成するにあたり、中期事業計画に記された方針1の「ウィズからポストコロナを見据えた事業の構築」とあるが本市のコロナによる現状の影響を踏まえ、今後のコロナ対応をどう分析し予算編成に当たられたのか伺う。</p> <p>(2) 方針2の「持続可能なまちづくりの推進(SDGs)」について</p> <p>① SDGsやカーボンニュートラルの施策推進には、投資的経費が長期に必要なだと推察されるが財源見込みを伺う。</p> <p>② SDGs及びカーボンニュートラルを推進することで市民福祉の向上にどう繋がるのか伺う。</p> <p>(3) 方針3の「デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進」とあるが、地域課題の解決の推進に先進技術等を活用していくとした根拠を伺う。</p>			<p>(要旨)</p> <p>3. 都市像1</p> <p>「活力ある地域経済と豊かな暮らしを実感できるまち」</p> <p>(1) 「地域産業の振興と人材の活躍促進」について</p> <p>① 予算大綱では本市の経済発展を支えてきた「地場産業」を「地域産業」とし、今後の成長が期待されるスタートアップ企業等に対する助成を行うとしている。予算大綱に散見される、民吉、山繁、ツクリテは本市の「地場産業」である陶磁器産業が土台にあるからであり、施策推進のためには本市の根本である陶磁器産業の発展が欠かせない考える。陶磁器産業を持続的に成長させていく支援施策の必要性について、市長の想いと見解を伺う。</p> <p>② 陶磁器産業を含めた既存の市内産業については、生産性向上やデジタル化などでは解決できない構造的な問題も複雑に絡んでいるが、それらの問題をどのような体制で解決に当たっていくのか伺う。</p> <p>③ 企業誘致を推進するにあたり、種地の確保とインフラ整備をどう進めていくのか伺う。</p> <p>④ 農業に関して、耕作放棄地及び担い手不足の対策や地場農作物のブランド化の推進といった従来の課題に対して、解決に資する新たな挑戦をどのように取り組まれるのか伺う。</p>	

1 番		朝井賢次 議員	
項目		項目	
(要旨)	<p>(2) 「年齢や性別にかかわらず働くことや起業、創業に挑戦できるまちづくり」について</p> <p>① 年齢や性別にかかわらず働くことや、起業、創業に挑戦できるまちづくりをするための支援を行っていきとしているが、賑わいを創出する取り組みは一過性ではなく継続的な運営が欠かせないとする。起業、創業から安定経営へ繋げていく為の支援をどのように展開していくのか伺う。</p> <p>(3) 「地域経済の活性化につながる地域資源を活かしたシティプロモーションの展開」について</p> <p>① ジブリパーク開園の経済効果を楽しむためには、本市との必要十分なアクセスの確保と、市内の長時間滞在が有意義となるような「食」と「遊」の受け入れ体制を整備するのが基本であるが、具体的施策をどう検討しているのか伺う。</p> <p>(4) 「市民生活の利便性を高め、企業活動の活性化につながる都市基盤の整備」について</p> <p>① DX を積極的に推進し地域振興に取り組んでいく、新たな時代の商工、観光とは具体的に何を指し、それを推進していく基盤整備を令和4年度はどこまで進めていくのか伺う。</p> <p>② DX 推進と今後の行財政改革についての認識と方向性を伺う。</p>	(要旨)	<p>4. 都市像2「安心して子育てができ、子どもが健やかに育つまち」</p> <p>(1) 「ライフステージに応じた切れ目のない子ども・子育ての支援」について</p> <p>① 「子どもの権利条例」を制定し、子ども若者の最善な利益の実現を目指すとするが、子どもや若者の最善な利益の実現の具体像を伺う。</p> <p>② 子ども・若者会議は「子どもの権利や瀬戸のまちづくりなど市政について意見を伺う」とあるが、本来行政を中心とした考えかたではなく子ども若者に焦点をあて、この会議の中で権利やまちづくりそして行政のあり方等について、子ども若者目線で意見を述べてもらいその意見を大人が真摯に受け止め、良い意見は行政に反映していくといった会議であると認識しているが見解を伺う。</p> <p>③ 子ども・若者センターは、専門的で切れ目のない支援を行うとするが、専門的な人材育成をはじめとしたセンターの体制充実に取り組むべきと思うが方針を伺う。</p> <p>④ 真に効果のある障害者施策の実現に向けて、医療的ケア児の受け入れを拡充していくとしているが、支援が必要な子どもたちが本市で生まれてよかったと感じるよう、今後はどのような施策を展開していくのか伺う。</p> <p>(2) 「瀬戸で学び、瀬戸で育ててよかったと思える教育の実現」について</p> <p>① 現在、市内全校で実践されている協働型課題解決能力の育成について、これまでの評価と、本市ならではの教育を今後どのように実践していくのか伺う。</p>

1 番		朝井賢次 議員	
項目		項目	
<p>(要旨)</p> <p>② GIGA スクール構想に基づき全小中学生に教育タブレットを配布し、ICT を活用した教育の実践と全市で小中一貫教育を進めているが、子どもの学力向上の成果を伺う。</p> <p>③ 菱野団地内において、小中学校の適正規模適正配置を進めるものとされるが、本市全体における小中一貫教育に、より取り組んでいくためには、本市全体の適正規模適正配置をどのように考えているのか伺う。</p> <p>(3) 「多世代が子育てに関わることのできるまちづくり」について</p> <p>① 地域一体で子どもたちを育てていく環境を構築するために、地域連携担当教職員や地域学校協働活動推進員と連携し地域とゆるやかなネットワークを構築するとあるが、どのようなネットワークなのか、また、特色ある地域づくりにどのように貢献するのか伺う。</p>		<p>(要旨)</p> <p>(4) 「都市基盤整備による居住環境の魅力向上と未来に向けた良好な環境の継承」について</p> <p>① 通学路の整備と公園の更新については、これまでも積極的に取り組んできたと思うが、これまでの対策のどこに課題があると考えているのか。また、計画的かつ具体的に、優先順位を定めて、取り組むべきではないか伺う。</p> <p>② 中水野地区区画整理について、居住や子育て支援、商業施設などの新たな都市機能の誘導に向けて、立地適正化計画との整合を図るとあるが、その中には地域コミュニティ拠点の整備なども含まれなければいけないと考えるが、どのように進めていくのか伺う。</p> <p>③ 旧祖母懐小学校の跡地の活用に向けて地域の活性化につながる新たなまちづくりの整備に着手とあるが、地域のニーズや利便性を踏まえ、跡地を中心とした地域の特色あるまちづくりにどのようにつなげていくのか伺う。</p>	

1 番		朝井賢次 議員	
項目		項目	
(要旨) 5. 都市像3「地域に住む市民が自立し支え合い笑顔あふれるまち」		(要旨) (3)「誰もが自立し、地域で支えあいながら生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり」について	
(1)「誰もがいきいきと、健康に暮らすことができるまちづくり」について		① 新たな自助、共助、公助によるまちづくりの推進として、包括圏域内のモデル地区においての新たな障害者支援センター設置や、菱野団地再生計画に基づいたエリアマネジメント団体の活動支援を行うとしているが、自治会や公民館の担い手不足問題や、予算も含めての今後の地域力のあり方など、行政が率先して地域と協議をしていくべき課題も顕在化しており、対策が急務であると考えてるが見解を伺う。	
① 市民の主体的な健康づくりの支援のため、地域資源を活用した介護予防教室の継続や、生活習慣病予防をはじめとした健康づくりへの支援を、未だ感染症対策が強いられる中でどのように取り組んでいくのか伺う。		(4)「地域の生活環境の向上と安心、安全な地域づくり」について	
② 健康づくり支援、予防接種や各種健診、医療助成等で約34億円を計上しているが、この金額をどう捉えているか。また今後も増大が予想される扶助費の抑制に向けて「解決に資する新たな挑戦」はあるのか伺う。		① 生活環境の向上と持続可能なまちづくりの実現を目指し、3Rの徹底により循環型社会を構築していくとしているが、適正な分別によるゴミ削減推進のために市民に負担を求める施策を実施しようとする中で、市長から市民に向けてメッセージがないのはなぜか伺う。	
(2)「高齢者が生きがいを持って活躍し、支えあいにより、安心して暮らせるまちづくり」について		② 安心安全な地域づくりに不可欠な消防力の強化として、消防本庁舎建設は本市の一大事業である。中期事業計画では基本設計が示されたが、完成に向けてのロードマップと財源確保について伺う。	
① 高齢者を対象とした地域包括ケアシステムの推進を進めていくとしているが、本来の在り方である全年齢を対象とした地域包括ケアシステムの構築、深化を進めていくべきと考える。そのためには従来から提言している悉皆調査や中核施設となる地域包括支援センターのさらなる支援拡充が必須と考えるが、2025年問題も見据えたこの喫緊の重要課題に対しての解決に資する新たな挑戦をどのように展開していくのか伺う。			
② 高齢者が自動車に依存しなくても生活できる環境の整備と、外出機会の創出を目的とした移動手段の実証を行うとしているが、具体的な市独自のフレイル対策を県の補助事業を活かし持続可能なものにしていく新たな挑戦について伺う。			

1 番	朝井賢次 議員	
項目		項目
<p>(要旨)</p> <p>(5) 「誰もが生涯にわたって学び郷土に対する誇りと愛着を深める豊かな地域づくり」について</p> <p>① 旧山繁商店の保存、活用を推進するため旧山繁商店保存活用計画をもとに、コンセプトプランを作成しているが、周辺市街地のまちづくりも含めたものになっていくのか。またそうであれば体系的かつ具体的なスケジュールのロードマップも示し、横断的な取り組みを官民共通認識のもと進めていかなければいけないと考える。市長が考える具体的なランドデザインと、それを裏付ける想いを込めた事業内容を伺う。また、民吉生誕 250 年に関する事業を本市のまちづくりにどう活かし、誇りと愛着を深める豊かな地域づくりを誰に、どう発信していくのか具体的に伺う。</p>		<p>(要旨)</p> <p>6. 取り組むべき長期課題について</p> <p>(1) 今秋に開園するジブリパークの世界観を共有し本市の将来像の実現に向け力強く進んでいくとしているが、2026 年に開催が確定しているアジア大会に向けての競技施設の整備や産総研跡地及び方針が未定である小学校跡地については本市の大きな課題と考えるが見解を伺う。</p> <p>7. 中期事業計画に掲げている真に効果のある障害者施策の実施について</p> <p>(1) 真に効果のある障害者施策を実現するという前提で廃止した障害者手当にかかる予算約 1 億 4000 万円は今回の予算編成でどう有効に予算化したと判断しているのか伺う。</p> <p>8. 行政改革行政サービスの向上の取り組みについて</p> <p>(1) 一般会計の予算規模は前年より約 2.9%の増加であるが、公共施設の施設整備として約 30 億円を予定するなか、国が示す地方財政計画も考慮し市債の約 26 億円借入れは積極財政と捉えて良いのか伺う。</p> <p>(2) 国民健康保険事業及び介護保険事業については計画に基づきながらも健康増進や介護予防に向けて柔軟に事業を進めていくべきと考えるが、介護保険基金についての見解と方針を伺う。</p> <p>(3) 水道事業及び下水道事業については人口減少や施設更新を鑑みた経営判断が今後さらに求められてくると考えるが、2 つの企業会計の経営見通しと方針を伺う。</p>